

地域情報誌
2016年8月
(No28)

DEすかね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会

DEすかね 寄稿文

明治大学農学部地域環境計画研究室 4年

佐藤康平



(すまいるの前で集合写真)



(農園訪問)



(ふれあいプラザ須金へ)



(それーねの日に参加)

6月11日から13日の3日間、今年も研究室で須金にお邪魔しました。今年のメンバーは先生を含め総勢14人、半分の7人は新しく研究室に入ってきた3年生です。この7人はみんな首都圏出身者、驚きの連続の3日間でした。

初日は支所で周南市や須金地区について勉強した後、夜は交流会！たくさんの貴重なお話を伺うことができました。2日目午前中は福田さんに農園についてのお話を伺い、ブドウの摘果を体験しました。みんな黙々と作業していました（笑）。ひまわりの会で美味しいカレーをご馳走になった後、午後はそれーねの日に参加し、楽しい時間を過ごさせていただきました。お手玉投げゲームではお母さん方が大活躍！大学生チームは良いとこなしでした…。3日目は2つのグループに分かれて意見をまとめて発表し、須金の魅力や課題を共有しました。最後にbambooでお昼を頂き、帰京しました。

いつも須金に行ったときは楽しいだけでなく、色々なことを学ぶことができます。今年初めての人だけでなく何度目かの人にとっても、日本の「田舎」について学び、考える良い機会となっています。本当にありがとうございます。須金で学んだことを活かし、何らかの形で皆様に恩返しできればと思います。

須金 人物紹介

山本 昌史さん、ゆみ子さん
一輝（かずき）くん
敦己（あつき）くん



この4月から須金駐在所に赴任された、山本所長さんご家族にお話を聞いてきました。

Q1. 経歴を教えてください。

（昌史）防府市の出身で、警察に入ってから下関、岩国、宇部といろいろな土地で勤務してきました。2年間は千葉県に出向して、成田空港警備隊にも所属したことがあります。須金の前は山口市仁保の駐在所に勤務していました。

（ゆみ子）周南市の出身です。←熊毛じゃろ、と昌史さんのつつこみ。

Q2. 皆さんの趣味や特技は？

（昌史）パソコンですかね。最近休の日は家でごろごろしているので、体重が5kg増えました。前はジムに行ったりもしていましたが、これからは走ろうかなと思ってます。

（ゆみ子）昔はバドミントンの選手でしたが、今は子守で手一杯です。

（一輝）剣道をならっています。夢はロボットを造ることです。

（敦己）ねんど遊び、水遊びが好きです。

Q3. 所長さんから須金の皆さんに一言

皆さんいい方なので仕事がしやすいです。巡回連絡ではお宅を訪問するので、その時はよろしくお願いします。

須金の安心・安全を守る駐在さん。この5月の伊勢志摩サミットの警備に参加されたり、成田空港警備隊に出向されていたり、凄い方ですね！！これまでの経験を生かして、須金をしっかりと守ってくださると感じました。
（インタビュー／三牧 清隆）

DEすがね掲示板

須金診療所休診のお知らせ。

8/11（祝・木）

8/15（月）

は休診です。ご注意ください。

原爆投下日及び終戦日に

サイレンの吹鳴を行うのでご注意ください。

8月6日（土） 午前8時15分から1分間

8月9日（日） 午前11時2分から1分間

8月15日（月） 正午から1分間

須金公民館図書をご活用ください

・公民館に本を借りに来てください。

・本の購入希望があれば、公民館にご連絡ください。

（11月頃新しい本を購入する予定です）

7/3の清掃活動にご一緒させていただいた、「しゅうニャン橋守隊」の小山といたします。今回の活動では、舟本橋と恵比寿橋を清掃しました。清掃後、通行された方はきれいになっているのにお気づきになられたでしょうか？

突然ではありますが、橋はメンテナンスを行うことで安全に利用できる期間が長くなります。今回の清掃活動もこのメンテナンスの一つで、橋の道路上の草や土砂を撤去し排水口のつまりを取ることは、水はけを良くし、鋼材やコンクリートが痛みにくくなることにつながります。しかし、時と共に土砂が溜まり、排水口が詰まってしまうこともあります。定期的なメンテナンスを“継続”しなければ、橋のメンテナンスにはならないのです。

今回の活動が、みなさんの身近にある橋に意識を向けていただくきっかけになればいいな、と思います。

お読みいただきありがとうございます。

しゅうニャン橋守隊 隊員
徳山高専 専攻科1年 小山諒子



(和紙センターの前で記念撮影)

須金地区主な行事予定

8月

- 8月 3日（水）やまびこ号
- 8月 4日（木）産業観光ツアー
- 8月 6日（土）気象講座
- 8月 7日（日）T-tubeワールドカップ
- 8月 8日（月）コミュニティ理事会
- 8月 14日（日）物故者追悼式・盆踊り大会
- 8月 27日（土）須金なし・ぶどう祭

9月

- 9月 1日（木）小学校始業式
- 9月 2日（金）やまびこ号
- 9月 4日（日）敬老会
- 9月 5日（月）地域参観日
- 9月 12日（月）コミュニティ理事会
- 9月 26日（月）大津島秋季交流会
- 9月 27日（火）やまびこ号

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育って、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！

編集後記

暑い毎日が続きますね。こんな時には川へ行こう！須金の錦川は水量もちょうどよく、泳ぐにはもってこい。そんな須金のいいところをアピールするイベント、T-tubeワールドカップもあります。ぜひ見に来てね。
(福田 陽一)



特別連載 須金歴史探訪

須金の生い立ち（1）

文 高橋 勝己

前回までに、須金の史跡や伝説など27回に渡ってご紹介してきましたが、ここで古代から近世までを時系列にまとめてみたいと思います。

須金地域に人が住み始めたのはいつごろからでしょう。その時代は大和政権が奈良に誕生して、その支配が地方へと拡大していく4～6世紀の古墳時代のころ。須々万村史による伝説では、武内宿禰（たけのうちのすくね）の子の角宿禰（つののすくね）がこの地方の国造（くにのみやつこ）に任じられ、今の佐波、都濃、玖北一帯の領主になりました。角宿禰は居城を須々万に置き、その下の地区を下角と呼ぶようになりました。また、須金村史によると、同じく武内宿禰の子の紀宿禰（きののすくね）の子孫である都怒宿禰（つぬのすくね）の子の田鳥足尼（たどりのすくね）が国造になり、この地域を紀の村と称したとあります。高野に下角、金峰山の東側の土地山に角城の地名が残っています。ちなみに宿禰とは、天皇に仕えた忠臣であり、その尊称です。

現在須金に紀の国にちなんだ名称は残っていませんが、紀氏は紀伊の国を治め、その地にある金峯山（きんぷせん）にまつわる金峰神社が須金にあること自体が何か縁を感じずにはいられません。

<次回につづく>

